

教育出版『小学社会』

第3学年 年間学習指導計画・評価規準

学習指導要領改訂に伴う移行措置期間（平成31年度）用

大単元 1	わたしたちの大好きなまち	配当時間 21 時間	教科書 3・4上 P4～47
-------	--------------	------------	-------------------

目 標

- 自分たちが住んでいるまちや市について、特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを観察、調査したり白地図

にまとめたりして調べ、まちの様子は地形条件や社会条件の影響を受けて場所によって違うことを考えるようにする。

評価規準

●社会的事象への関心・意欲・態度

自分が住んでいるまちや市の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを意欲的に調べ、その特色を考えようとしている。

●社会的な思考・判断・表現

自分たちが住んでいるまちや市の様子から学習問題を見いだして追究し、まちの様子は場所によって違いがあることについて思考・判断したことを言語などで適切に表現している。

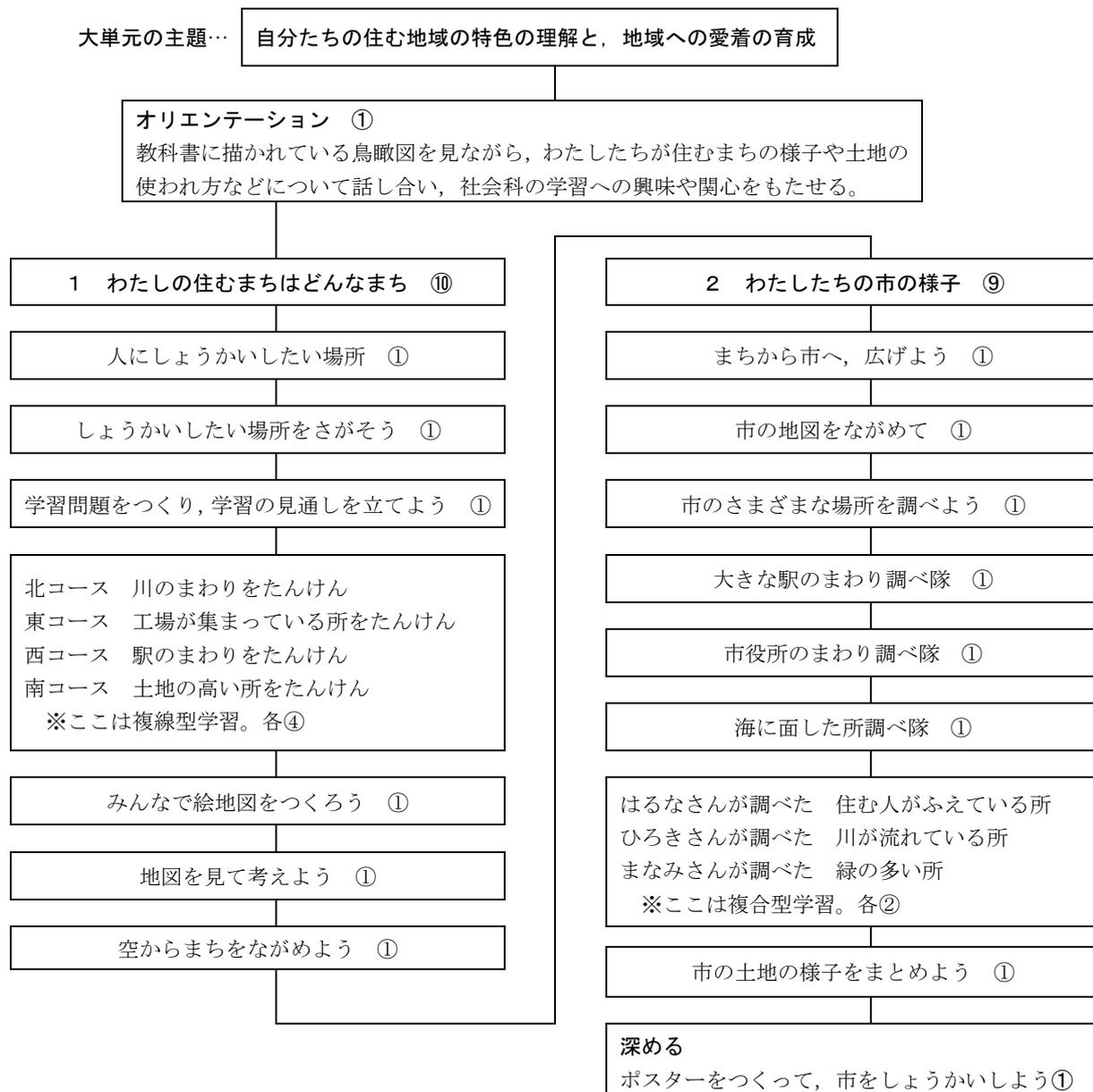
●観察・資料活用の技能

自分たちが住んでいるまちや市の様子を的確に観察、調査したり、具体的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。

●社会的事象についての知識・理解

まちや市の様子は地形的な条件や社会的な条件の影響を受けて、場所によって違いがあることを理解している。

大単元の構成



○の中の数字は、配当時数。

小単元 1	わたしの住むまちはどんなまち	配当時間 10 時間	教科書 3・4上 P6～25
-------	----------------	------------	-------------------

目 標

- 自分たちが住んでいるまちについて、特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを観察、調査させたり、白地図にまとめさせたりする。
- まちの様子は地形的な条件や社会的な条件の影響を受けて、場所によって違うことを考えさせる。

評価規準

- 社会的事象への関心・意欲・態度
 - ・自分が住んでいるまちの特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などに関心を持ち、意欲的に調べている。
 - ・まちの様子の特色やよさを考えようとしている。
- 社会的な思考・判断・表現
 - ・特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。
 - ・まちの様子は場所によって違いがあることについて、思考・判断したことを言語などで適切に表現している。
- 観察・資料活用の技能
 - ・観点にもとづいて観察や聞き取りを行ったり、地図や写真などの資料を活用したりして、学校のまわりのまちの様子について必要な情報を集め、読み取っている。
 - ・調べたことを主な地図記号や方位などを用いて絵地図や白地図にまとめている。
- 社会的事象についての知識・理解
 - ・学校のまわりの特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物の場所と様子などを理解している。
 - ・学校のまわりのまちの様子は場所によって違いがあることを理解している。

指導・評価のポイント

3年生の最初の単元であり、学級クラスづくりも意図しながらグループでの活動を実施する。仲間と歩き、観察することで、他者と協力し、分担し、話し合うことの必要性も指導したい。子どもどうしの信頼感を醸成したうえで、まちについて興味や関心をもたせ、それをどのように広げることができたかを見取るようにしたい。

生活科の内容「まちたんけん」の経験と、社会科としての

学習の接続に留意したい。生活科で公共施設を見学しても、記憶に残っていない子どもも多い。社会科では「社会的事象」を発見し、それを追究する活動となる。手どもの自然体験や生活経験、興味・関心を軸としながらも、抽象的な言葉の学習に陥らないように、具体的な人・もの・ことにもとづいた学習活動となるよう指導されたい。

学習指導計画 大単元名：わたしたちの大好きなまち

(発) = 発言・発表, (行) = 行動観察, (ノ) = ノート・作品, (テ) = テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
<p>オリエンテーション P4~5 【配時1】</p>	<p>教科書に描かれている鳥瞰図を見ながら、わたしたちが住むまちの様子や土地の使い方などについて話し合い、社会科の学習への興味や関心をもたせる。</p>	<p>○地形の様子や特色ある場所の様子を鳥瞰図から読み取りながら、まちの特色を話し合う。 ◆自分たちが住むまちは、場所によって地形の様子がちがうことや特色ある場所があること。</p>	<p>①鳥瞰図を使って「場所当てクイズ」(絵の中から学校, 鉄道, 河川, 工場, 畑, 神社などをあげさせる)を行う。 ②地形の様子や特色のある場所の様子を鳥瞰図から読み取る。 ③鳥瞰図に描かれているまちと、自分が住むまちとの共通点やちがいを話し合う。</p>	<p>【関】鳥瞰図に描かれているまちについて関心を持ち、どこに何があるのかを読み取りながら、まちの特色を考えようとしている。(発)(ノ)</p>

学習指導計画 小単元名：わたしの住むまちはどんなまち

(発) = 発言・発表, (行) = 行動観察, (ノ) = ノート・作品, (テ) = テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
人にしょうか いしたい場所 P6~7 【配時 1】	学校や家のまわりでよく行く場所や、おすすめを紹介し合い、自分たちの住むまちについて関心をもつようにする。	○生活科で学習したことを振り返りながら、自分たちが住むまちのおすすめの場所を紹介し合う。 ◆自分たちが住むまちには、まだ自分が知らない場所があり、調べてみたいと思うこと。	①生活科のたんけんや毎日の生活を振り返って、学校や家のまわりには、どんな場所があるか話し合う。 ②学校や家のまわりで、好きな場所をあげる。 ③学校や家のまわりで、おすすめを紹介し合う。	【関】学校や家のまわりでよく行く場所や、おすすめを紹介し合いながら、自分たちの住むまちについて関心をもとうとしている。(発) (ノ)
しょうかい したい場所をさがそう P8~9 【配時 1】	学校の屋上からまちの様子を見て、おすすめの方法がどこにあるのかを方位で表したり、気づいたことを話し合ったりしながら、自分たちが住むまちの様子について調べる意欲をもつようにする。	○学校の屋上や高い所から、自分たちの住むまちの様子を観察する。 ◆さまざまな場所を四方位(東西南北)を使って表すこと。学校の屋上から眺めるだけでは十分でないことから、探検して調べる必要があること。	①学校の屋上や高い所に上り、おすすめの方法を探す。 ②まちの様子を東・西・南・北の方位ごとに観察する。 ③まちの様子をみて、気づいたことや不思議に思ったことをノートに整理する。	【技】学校の屋上からまちの様子を見て、おすすめの方法がどこにあるのかを方位で表し、気づいたことを記録している。(行) (ノ)
学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう P10~11 【配時 1】	学校のまわりのまちの様子について話し合ったことをもとに学習問題をつくり、学習の計画(調べたい場所や探検のコース、持ち物、気をつけることなど)を立てることができるようにする。	○学習問題をつくり、まちを探検する計画を考える。 ◆学習問題をつくり、追究を進めていくこと。調べる内容、コース、持ち物、約束などを確かめること。	①まちの様子について話し合ったことや予想したことをもとに、学習問題をつくる。 ②調べたい場所や探検コースを話し合う。 ③探検するときの持ち物や約束を話し合う。	【思】学校のまわりの様子について話し合ったことをもとに学習問題を考え、表現している。(発) (ノ)
北コース 川のまわりをたんけん P12~13 【配時 4(複線)】	川のまわり(学校の北)を探検し、調べたことを絵地図に表すことができるようにする。	○川のまわりを探検し、その特色を絵地図に表す。 ◆川のまわりには地形を生かしてつくられた工場や公園などがあること。	①川のまわりを探検する。 ②気づいたことを絵地図に書き入れる。 ③気づいたことをみんなで話し合い、絵地図にまとめる。	【技】川のまわり(学校の北)を探検し、調べたことを絵地図に表している。(行) (ノ)
東コース 工場が集まっている所をたんけん P14~15 【配時 4(複線)】	工場が集まっている所(学校の東)を探検し、調べたことを絵地図に表すことができるようにする。	○工場が集まっている所を探検し、その特色を絵地図に表す。 ◆工場が平らな広い土地を利用して設けられていること。高層のマンションなども建てられていること。	①工場が集まっている所を探検する。 ②気づいたことを絵地図に書き入れる。 ③気づいたことをみんなで話し合い、絵地図にまとめる。	【技】工場が集まっている所(学校の東)を探検し、調べたことを絵地図に表している。(行) (ノ)
西コース 駅のまわりをたんけん P16~17 【配時 4(複線)】	駅のまわり(学校の西)を探検し、調べたことを絵地図に表すことができるようにする。	○駅のまわりを探検し、その特色を絵地図に表す。 ◆駅のまわりには、多くの人が利用する区役所や郵便局などの公共施設や商店が集まっていること。	①駅のまわりを探検する。 ②気づいたことを絵地図に書き入れる。 ③気づいたことをみんなで話し合い、絵地図にまとめる。	【技】駅のまわり(学校の西)を探検し、調べたことを絵地図に表している。(行) (ノ)

<p>南コース 土地の高い所をたんけん P18～19 【配時 4 (複線)】</p>	<p>土地の高い所(学校の南)を探検し、調べたことを絵地図に表すことができるようにする。</p>	<p>○土地の高い所を探検し、その特色を絵地図に表す。 ◆土地の高い所には住宅が集まっていること。寺や広い公園があること。</p>	<p>①土地の高い所を探検する。 ②気づいたことを絵地図に書き入れる。 ③気づいたことをみんなで話し合い、絵地図にまとめる。</p>	<p>【技】土地の高い所(学校の南)を探検し、調べたことを絵地図に表している。(行)(ノ)</p>
<p>みんなで絵地図をつくらう P20～21 【配時 1】</p>	<p>絵地図をつなげて、探検してわかったことを話し合うとともに、教師が示した地図と比べてわかりやすい地図を作るための工夫を考えるようにする。</p>	<p>○絵地図をもとにまちの様子について話し合う。また、わかりやすい地図を作るための工夫を考える。 ◆まちの様子は場所によってちがうことや、わかりやすい地図には、地図記号や色分けなどの工夫が必要であること。</p>	<p>①探検した絵地図どうしをつなげる。 ②つなげた絵地図をもとに、まちの様子を話し合う。 ③絵地図をわかりやすくする工夫を考える。</p>	<p>【思】自分たちが作った絵地図をつなげて、まちの様子についてわかったことを話し合うとともに、教師が示した地図と比べてわかりやすい地図を作るための工夫を考え、表現している。(発)(ノ)</p>
<p>地図を見て考えよう P22～23 【配時 1】</p>	<p>地図記号や色分けなど、地図の約束を理解するとともに、教師が示した地図を参考にしてわかりやすい地図を作ることができるようになる。また、まちの様子を具体的に言葉で表すことができるようにする。</p>	<p>○地図記号や色分けなど、地図の約束がわかり、わかりやすい地図を作る。地図を見て、まちの様子を言葉で表す。 ◆地図記号や地図の約束があること。地図の読み取り方がわかること。</p>	<p>①地図表現の約束について話し合う。 ②先生が紹介した地図を参考にしてわかりやすい地図を作る。 ③まちの様子を言葉で表す。</p>	<p>【知】地図記号や色分けなど、地図の約束を知るとともに、まちの様子を言葉で表している。(ノ)</p>
<p>空からまちをながめよう P24～25 【配時 1】</p>	<p>空中写真を見たり、再度屋上からまちの様子を眺めたりしながら、自分たちが住むまちの様子は場所によってちがいがああることを考えるようにする。</p>	<p>○空中写真を見たり、再度屋上からまちの様子を確かめたりしながら、自分たちの学校のまわりの特色について話し合う。 ◆まちの様子は、場所によってちがいがああること。</p>	<p>①空から見たまちの様子と自分たちが作った地図を比べる。 ②まちの特色を話し合う。 ③「まとめる」を参考に、場所による特色のちがいについて確かめ、ノートに書く。</p>	<p>【思】空中写真を見たり、再度屋上からまちの様子を眺めたりしながら、自分たちの学校のまわりの特色について話し合い、場所によってちがいがああることを表現している。(発)(ノ)</p>

小単元 2	わたしたちの市の様子	配当時間 9時間	教科書 3・4上 P26～45
-------	------------	----------	--------------------

目 標

- 自分たちの市の特色ある地形や土地利用の様子，主な公共施設などの場所と働き，交通の様子，古くから残る建造物などについて調べ，地域の様子や人々の暮らしは場所によ

って違いがあることをとらえさせたり，地域社会に対する愛着をもたせたりする。

評価規準

●社会的事象への関心・意欲・態度

- ・市には地形や土地利用の違うさまざまな場所があることに関心を持ち，市の様子について意欲的に調べようとしている。

●社会的な思考・判断・表現

- ・市の様子はどのようになっているのか，調べるテーマや調べる計画を考え表現している。
- ・市の土地利用の様子を地形的な条件や社会的な条件と関連づけたり，分布の様子を相互に比較したりして，地域ごとの様子の違いや人々の暮らしの様子について考え，適切に表現している。

●観察・資料活用の技能

- ・自分で集めた資料や，提示された写真や地図などから，市の地形や土地利用の様子をとらえている。
- ・調べたことを主な地図記号や八方位などを用いて，白地図にまとめたり文章に表現したりしている。

●社会的事象についての知識・理解

- ・市内の特色ある地域の様子や土地利用の様子を理解し，市の様子は場所によって違いがあることを理解している。
- ・八方位や主な地図記号の意味について理解している。

指導・評価のポイント

社会科の基本的な学習活動は「問題解決的な学習」である。子どもの興味・関心を軸として、「つかむ」→「調べる」→「まとめる・深める」といった学習段階で展開していく。小単元ごとに，教科書せ P10～11「学習問題をつくり，学習の見通しを立てよう」を参照させて，学習計画を立て，見通しをもたせるように指導する。

まち探検と異なり，市（区，町，村）全体を対象とした学習では子どもが観察や見学することが限られ，空中写真や地図資料の読み取りが中心となる。市内に特色ある場所が多く見られる場合は，一斉型学習の他に，教科書 P38～43 のような個人による自主的な調査にもトライさせたい。

学習指導計画 小単元名：わたしたちの市の様子

(発) = 発言・発表, (行) = 行動観察, (ノ) = ノート・作品, (テ) = テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
まちから市へ、広げよう P26～27 【配時 1】	自分たちの市の空中写真を見て、市全体の様子自分たちの住むまちの様子とのちがいに興味をもち、市の様子について調べ意欲をもつことができるようにする。	○市の空中写真を見て、市全体の様子自分たちのまちと比べて気になったことや不思議に思ったことを話し合う。 ◆市内には、自分たちの住むまちとは様子がちがう地域があること。	①市の空中写真を見ながら、市全体の様子について気づいたことを話し合う。 ②自分が行ったことのある場所や知っている場所を出し合う。 ③自分たちの住むまちと比べて、気づいたことなどをもとに、学習問題をつくる。	【関】写真や資料から、市の様子について関心をもち、意欲的に調べようとしている。(発) 【思】市の様子について話し合ったことをもとに学習問題を考え、表現している。(発)(ノ)
市の地図をながめて P28～29 【配時 1】	自分たちが住む市の広がり、市内における自分たちの住むまちの位置を確認することができるようにする。	○市全体の地図を見たり、市域の輪郭を描き写すとともに、市内における自分たちの住むまちの位置を八方位を使って言い表す。 ◆市域の広さやおおまかな形。自分たちのまちの位置を八方位を使って表すこと。	①市の行政区分と鉄道網の地図を見て、市の広がり確かめる。 ②市内における自分たちのまちの位置について、八方位を使って表現する。 ③市全体の地図を見たり、市の輪郭を描き写したりして、市の広さやおおまかな形状確かめる。	【知】八方位の表し方を理解し、市内における自分たちのまちの位置を八方位を使って表現している。(発)(ノ)
市のさまざまな場所を調べよう P30～31 【配時 1】	市の空中写真や地図などを見て、気づいたことなどをもとに、調べたいテーマを話し合っ決めて、どのように調べればよいか計画を立てることができるようにする。	○市の土地の高さを表した地図を読み取り、市の様子について調べる計画を立てる。 ◆市内には、さまざまな土地の高さの場所があること。	①市の土地の高さを表した地図を見て、気づいたことを出し合う。 ②詳しく調べてみたい場所について話し合う。 ③市の様子について詳しく調べる計画を立てる。	【思】市の土地の高さを表した地図を見て、考えたことをグループの中で伝え合っている。(発)(ノ)
①大きな駅のまわり調べ隊 P32～33 【配時 1】	大きな駅の周辺の土地利用や交通の様子と、人々が集まる理由について、地図や写真などの資料をもとに調べることができるようにする。	○横浜駅周辺の空中写真や地図を読み取り、大きな駅周辺の交通や土地利用について調べる。 ◆大きな駅を中心に交通網が整備され、多くの人々に利用されていること。	①空中写真と建物の写真から、気づいたことを話し合う。 ②地図記号の意味を理解し、駅周辺の交通や土地利用について考える。 ③横浜駅と中山駅を比べ、気づいたことをノートにまとめ、話し合う。	【技】調べる観点にもとづいて適切な資料を読み取り、大きな駅周辺の様子自分たちの住むまちの様子との比較を、ノートにまとめている。(ノ)
②市役所のまわり調べ隊 P34～35 【配時 1】	市の中心部の土地利用や公共施設などについて、市役所から取り寄せた資料などをもとに調べることができるようにする。	○横浜市役所周辺の空中写真や地図を読み取り、市役所周辺の建物や土地利用について調べる。 ◆市の中心部には多くの公共施設があること。	①市役所周辺の空中写真や建物の様子の写真から、気づいたことを話し合う。 ②地図記号の意味を理解し、市の中心部の建物の特徴について考える。 ③市の中心部とわたしたちのまちを比べ、気づいたことをノートにまとめ話し合う。	【技】調べる観点にもとづいて適切な資料を読み取り、調べてわかったことや考えたことを、ノートにまとめている。(ノ)

<p>③海に面した所調べ隊 P36～37 【配時 1】</p>	<p>海沿いの土地がどのように利用されているのかを地図や写真などの資料をもとに調べ、大きな工場が集まっているわけを考察することができるようにする。</p>	<p>○海に面した土地の空中写真や地図を読み取り、海に面した所の土地利用の特徴を調べる。 ◆臨海部には埋立て地がつくられ、工場用地として使われていること。</p>	<p>①海沿いの地域の空中写真や建物の様子の写真から、気づいたことを話し合う。 ②地図記号の意味を理解し、海沿いの建物の特徴について考える。 ③海に面した所とわたしたちのまちを比べ、気づいたことをノートにまとめ話し合う。</p>	<p>【技】調べる観点にもとづいて適切な資料を読み取り、調べてわかったことや考えたことを、ノートにまとめている。(ノ)</p>
<p>はるなさんが調べた 住む人がふえている所 P38～39 【配時 2(複線)】</p>	<p>人口が増えている新興住宅地の様子について、実際に住んでいる人の話や地図などの資料をもとに調べ、人口が増えているわけを考察することができるようにする。</p>	<p>○住む人が増えている地域の空中写真や地図を読み取り、地域の様子を調べる。 ◆人口が増加している地域は、住宅地として開発が進んでいること。</p>	<p>①住む人が増えている地域の空中写真や建物の様子の写真を見て、気づいたことを話し合う。 ②地図記号の意味を理解し、住む人が増えている地域の様子について考える。 ③住民へのインタビューや資料をもとに、わかったことをノートにまとめる。</p>	<p>【技】調べる観点にもとづいて適切な資料を読み取ったり、インタビューしたりして、わかったことや考えたことを、ノートにまとめている。(ノ)</p>
<p>ひろきさんが調べた 川が流れている所 P40～41 【配時 2(複線)】</p>	<p>川沿いの土地の地形的な特色や土地利用などについて、関連施設の人の話や写真などの資料をもとにして調べることができるようにする。</p>	<p>○川の流域の立体地図を見たり流域センターを見学したりして、川の流域の様子を調べる。 ◆川は高い土地から低い土地へ流れており、場所によって地形や土地利用が変化すること。</p>	<p>①鶴見川流域の鳥瞰図を見て、気づいたことを話し合う。 ②鶴見川流域センターの人の話から、わかったことを話し合う。 ③上流・中流・下流の写真を比べて、土地利用の様子について気づいたことを話し合う。</p>	<p>【技】調べる観点にもとづいて適切な資料を読み取ったり、インタビューしたりして、わかったことや考えたことを、ノートにまとめている。(ノ)</p>
<p>まなみさんが調べた 緑の多い所 P42～43 【配時 2(複線)】</p>	<p>緑の多い所がどのように利用されているか市役所の人に話を聞いて調べたり、緑が多い所の分布を地図などの資料をもとに調べたりすることができるようにする。</p>	<p>○緑の多い所の分布図や空中写真を読み取り、緑が多い所がどのように利用されているのかを調べる。 ◆市内の緑地の分布や、緑地が公園や農地などに利用されていること。</p>	<p>①市内の緑地の写真を見て、気づいたことを話し合う。 ②市役所へのインタビューや資料をもとに緑地の分布やその利用について調べる。 ③緑が多い所について調べて、わかったことを白地図やノートにまとめる。</p>	<p>【技】調べる観点にもとづいて適切な資料を読み取ったり、インタビューしたりして、わかったことや考えたことを、白地図やノートにまとめている。(ノ)</p>
<p>市の土地の様子をまとめよう P44～45 【配時 1】</p>	<p>調べてきたことを地図にまとめ、正規の土地利用図とともに見ながら気づいたことを話し合い、地形や土地利用が場所によってちがいをとらえることができるようにする。</p>	<p>○これまで調べてきたことを地図にまとめ、自分たちの市の特色について話し合う。 ◆地形や土地利用は、場所によってちがいをとらえること。</p>	<p>①各グループがこれまで調べてきたことを地図にまとめる。 ②まとめた地図を見て、市の様子について気づいたことを話し合う。 ③「まとめる」を参考に、市の土地利用について気づいたことや考えたことをノートに書く。</p>	<p>【技】市の様子について調べたことを、白地図にまとめている。また、地図から市全体の土地利用の特色を読み取っている。(ノ) (発) 【思】自分たちの市の特色について考え、ノートに表現している。(ノ) (発)</p>
<p>〈深める〉 ポスターをつくって、市をしようかいしよう P46～47 【配時 1】</p>	<p>自分たちの市の様子について、観察や写真・地図などの資料をもとに調べたことをポスターに表現し、その特色をとらえさせる。</p>	<p>○自分たちの市を紹介するポスターを作り、発表会をする。 ◆自分たちの市の特色を他者に対して伝えるために、これまで作成した白地図などを活用してポスターを作成すること。</p>	<p>①自分たちの住むまちや市の学習を振り返り、写真や地図、作成物を活用する。 ②どのようなポスターにするのか、表現の工夫などについて話し合う。 ③まとめたポスターをもとに発表し、感想を話し合う。</p>	<p>【思】市全体の土地の様子や特色ある場所などを、自分の住むまちとの位置関係や方位を考えながら、文章やポスターに表現している。(ノ)</p>

大単元2	働く人とわたしたちの暮らし	配当時間 21 時間	教科書 3・4上 P48～95
------	---------------	------------	--------------------

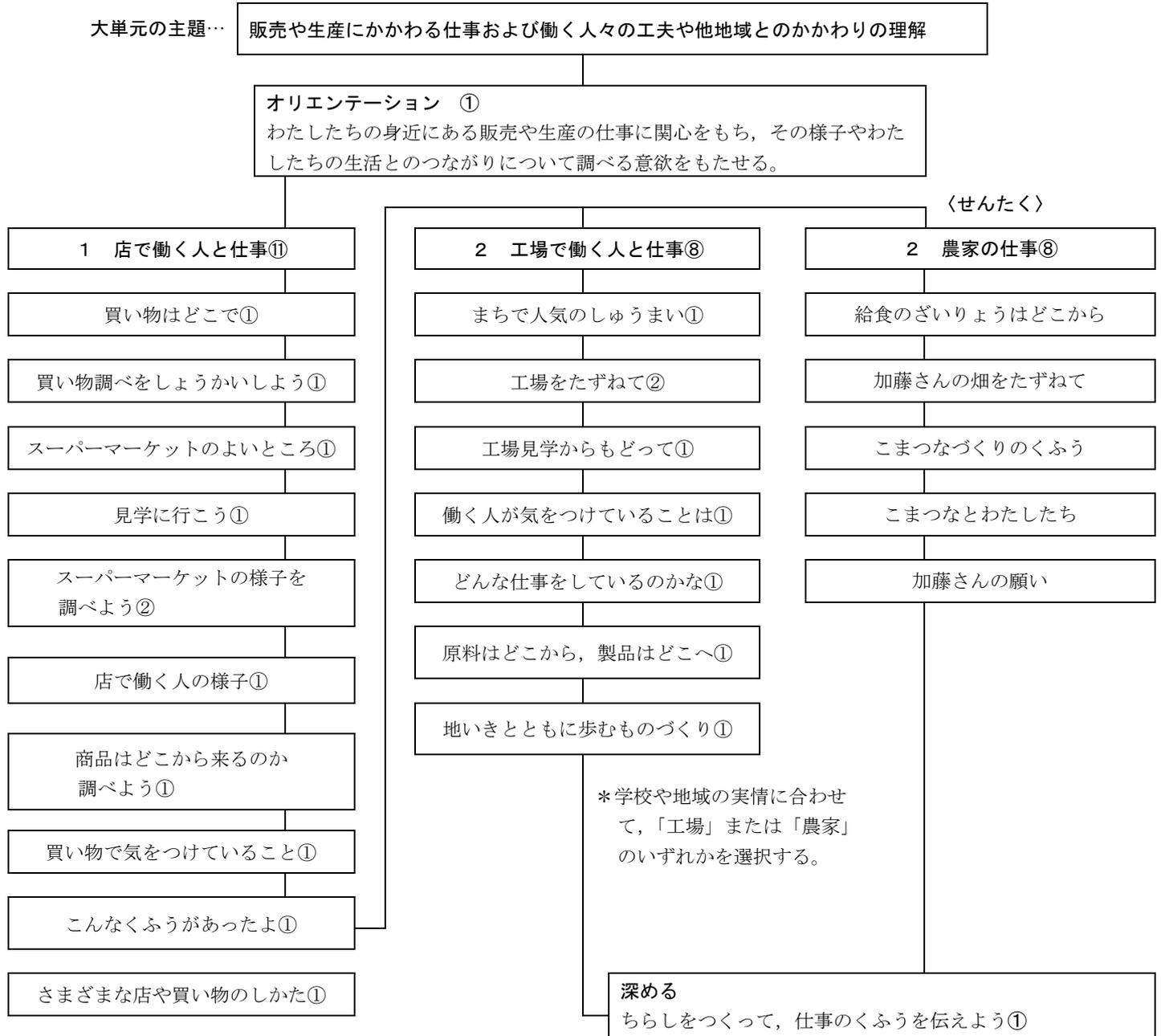
目 標

- 地域の販売や生産に関する仕事について調べさせ、その仕事の特色や他地域とのかかわりについて理解させる。
- 地域の販売や生産に携わる人々の仕事の工夫について考えさせ、それらの仕事が自分たちの生活を支えていることを理解させる。

評価規準

- 社会的事象への関心・意欲・態度
地域の人々の販売や生産の仕事の様子に関心をもち、それを意欲的に調べ、地域の販売や生産の仕事と自分たちの生活との関わりを考えようとしている。
- 社会的な思考・判断・表現
地域の人々の販売や生産の仕事の様子から学習問題を見いだして追究し、それらの仕事に携わっている人々の工夫について思考・判断したことを適切に表現している。
- 観察・資料活用の技能
地域の人々の販売や生産の仕事の様子を的確に見学、調査したり、具体的な資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。
- 社会的事象についての知識・理解
販売や生産の仕事に携わっている人々の工夫について理解している。

大単元の構成



○の中の数字は、配当時数。

小単元 1	店で働く人と仕事	配当時間 11 時間	教科書 3・4上 P50～69
-------	----------	------------	--------------------

目 標

- 買い物調べやスーパーマーケット見学を通して、販売の仕事の様子、商品を通じた他地域とのつながりについて調べさせ、販売に携わる人々の工夫について考えさせる。
- 客の買い物の工夫と店の販売の工夫とのかかわりについて考えさせ、販売の仕事が自分たちの生活を支えていることを理解させる。

評価規準

- **社会的事象への関心・意欲・態度**
 - ・ 家の人が買い物でよく行く店やよく買う商品について興味・関心をもち、買い物調べの計画を立てようとしている。
 - ・ スーパーマーケット見学の意欲を高め、調べたいことや注意することについて、グループごとに話し合ったり、ノートに書いたりしている。
- **社会的な思考・判断・表現**
 - ・ スーパーマーケットに多くの人が集まる理由を予想し、スーパーマーケットのよいところをカードに書くとともに、スーパーマーケット見学の計画を立て、ノートに書いている。
 - ・ スーパーマーケットで働く人が販売で工夫していること、また、客が買い物で気をつけていることについて考え、ノートに書いている。
 - ・ 客の願いと店の工夫のかかわりについて考え、ノートに書いている。
- **観察・資料活用の技能**
 - ・ 買い物調べで調べたことを地図や表・グラフに表している。
 - ・ スーパーマーケットの売り場の様子や品物の並べ方を視点を決めて観察したり、買い物客へインタビューしたりして、必要な情報を集めている。
 - ・ スーパーマーケットで売られている商品の産地の調べ方を知り、調べている。
- **社会的事象についての知識・理解**
 - ・ スーパーマーケットの見学を通して、店で働く人がどのような工夫をしているか、視点ごとにとらえている。
 - ・ 店が商品の仕入れを通じて、同内外の他地域とかかわっていることを理解している。
 - ・ 賞味期限やリサイクルマークなどの表示、さまざまなサービスを理解している。

指導・評価のポイント

教科書では見学が1回のみの場合を想定しているが、可能であれば複数回実施したい。「まち探検」学習と同様に、見学先との十分な打ち合わせが必要である。商店の営業時間内に実施することになるため、必要最低限の時間内に見学を終えられるようにしたい。評価では、店の工夫について記録し

た見学カードなどをもとに、クラス内で共有することに重点を置きたい。話し合いによって店の工夫を類型化（教科書では「値段、品揃え、新鮮さ、便利さ」）し、それに沿った発言内容やノート記述を見取るようにする。

学習指導計画 大単元名：働く人とわたしたちの暮らし

(発) = 発言・発表, (行) = 行動観察, (ノ) = ノート・作品, (テ) = テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
オリエンテーション P48～49 【配時 1】	わたしたちの身近にある販売や生産の仕事に関心を持ち、その様子やわたしたちの生活とのつながりについて調べる意欲をもたせる。	○まち探検や市の様子調べの活動を振り返り、地域には販売や生産の仕事があり、それらの仕事わたしたちの生活とどのようなかかわりがあるのかに関心を持ち、学習の見通しをもつ。 ◆まちには、販売や生産の仕事にたずさわる人たちがいること。	①「まち探検」の学習を振り返り、どのような仕事で働く人がいたか発表し合う。 ②発表した仕事の中から、販売（商業）と生産（農業と工業）にかかわるものに分類し、発表する。 ③生産物が販売されることによって、自分たちの暮らしとかかわっていることを話し合う。	【関】教科書の写真をもとに、生産（野菜、しゅうまい）・販売（店）と、自分の暮らし（買い物）とのつながりに関心を持ち、それらの仕事について調べようとしている。(発)

学習指導計画 小単元名：店で働く人と仕事

(発) = 発言・発表, (行) = 行動観察, (ノ) = ノート・作品, (テ) = テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
買い物はどこで P50～51 【配時 1】	家の人の買い物について想起させ、調べる計画を立てることができるようにする。	○家の人が普段どんな店で買っているのか発表し、買い物調べの計画を立てる。 ◆家の人が普段さまざまなお店で買物をしたり、さまざまな商品を買ったりしていること。	①家の人の買い物の様子を振り返り、買い物によく行く店、よく買う商品を発表する。 ②家の人に買い物について尋ね、わかったことをカードに書く計画を立てる。 ③買い物調べをする日を決め、調べ方や「買い物調べカード」の書き方をおさえる。	【関】家の人が買い物によく行く店やよく買う商品について興味・関心を持ち、買い物調べの計画を立てようとしている。(発)
買い物調べをしよう P52～53 【配時 1】	買い物調べで調べたことをもとに、店のある場所やよく行く店をまとめ、買い物の特徴をとらえることができるようにする。	○買い物調べで調べたことを発表し、店のある場所や調べた人の人数を、地図や表・グラフにまとめ、気づいたことを話し合う。 ◆人が多く通るところに店が多かったり、スーパーマーケットに多くの人が買い物に行ったりしていること。	①調べた店の分布を買い物地図にまとめたり、人数を表やグラフにまとめたりして、気づいたことを発表し合う。 ②まとめた表やグラフから、多くの人が行く店を指摘する。 ③その店に多くの人が行く理由を考え、学習問題をつくる。	【技】買い物調べで調べたことを地図や表・グラフに表している。(行) 【思】買い物調べでまとめた地図や表・グラフをもとに、買い物によく行く店の特徴について考え、学習問題をつくり、表現している。(ノ) (発)
スーパーマーケットのよいところ P54～55 【配時 1】	スーパーマーケットのよいところを話し合い、スーパーマーケットについて詳しく調べる意欲をもつことができるようにする。	○スーパーマーケットに多くの人が行く理由を考え、スーパーマーケットを調べる計画を立てる。 ◆スーパーマーケットには、よいところがたくさんあること。	①スーパーマーケットのよいところを話し合い、カードに書く。 ②スーパーマーケットに多くの人が行く理由を予想する。 ③予想をもとに、スーパーマーケットについて調べる計画を立てる。	【思】スーパーマーケットに多くの人が集まる理由を予想し、よいところをカードに書き、見学の計画を立てている。(ノ)

<p>見学に行こう P56~57 【配時 1】</p>	<p>スーパーマーケット見学に向けた意欲をもち、見学の計画を立てることができるようにする。</p>	<p>○スーパーマーケットを見学する計画を立て、見学の視点や決まりを確認する。 ◆スーパーマーケットでは、商品が並んでいたり、働く人やお客の人がたくさんいたりして、気をつけて見学しなければならないこと。</p>	<p>①スーパーマーケットの見学で調べたいこと、気をつけることをグループごとに話し合い、発表する。 ②インタビューしたいことをまとめ、インタビューの練習をする。 ③スーパーマーケット見学の日時、道順、持ち物について確認する。</p>	<p>【関】スーパーマーケット見学の意欲を高め、調べたいことや注意することについて、グループごとに話し合ったり、ノートに書いたりしている。(発)(ノ)</p>
<p>スーパーマーケットの様子を調べよう P58~59 【配時 2】</p>	<p>スーパーマーケット見学を通して、店がお客のことを考えたさまざまな工夫をしていることに気づくことができるようにする。</p>	<p>○スーパーマーケットを見学し、気づいたこと、わかったことをカードに書く。 ◆スーパーマーケットでは、お客さんが買い物をしやすいように、値段・品ぞろえ・新鮮さ・便利さなど、さまざまな工夫をしていること。</p>	<p>①スーパーマーケットに見学に行き調べる。 ②スーパーマーケットを見学したり、働く人にインタビューしたりして、わかったことを指摘する。 ③気づいた工夫を、値段・品ぞろえ・新鮮さ・便利さ・その他のいづれかに分類して、カードに書く。 ④障がいのある人やお年寄りの人に合わせた工夫などを見つけて、カードに書く。</p>	<p>【技】スーパーマーケットの売り場の様子について視点を決めて観察したり、買い物客へインタビューしたりして、必要な情報を集めている。(行)</p>
<p>店で働く人の様子 P60~61 【配時 1】</p>	<p>スーパーマーケットで働く人がお客のことを考えた売り方の工夫をしていたことに気づくことができるようにする。</p>	<p>○スーパーマーケット見学を振り返り、店で働くさまざまな人がどのような仕事をしていたか発表し、仕事の工夫について話し合う。 ◆スーパーマーケットでは、さまざまな人がさまざまな工夫や努力をして働いていること。</p>	<p>①スーパーマーケットではどのような人がどのような仕事をしていたか、観察したことをもとに発表する。 ②スーパーマーケットで働く人はどのようなことに気をつけていたか、インタビューしたことをもとに発表する。 ③スーパーマーケットで働く人の仕事の工夫について考え、話し合う。</p>	<p>【思】スーパーマーケットで働く人が、どのような工夫をして商品を販売しているか考え、ノートに書いている。(ノ)</p>
<p>商品はどこから来るのか調べよう P62~63 【配時 1】</p>	<p>スーパーマーケットの商品の仕入れ先が広く国内外にわたり、わたしたちの暮らしが他地域とかわわっていることに気づくことができるようにする。</p>	<p>○スーパーマーケットで売られている商品の産地を調べ、わかったことを発表し合う。 ◆スーパーマーケットの商品の仕入れ先が広く国内外にわたっていること。</p>	<p>①スーパーマーケットで売られている商品の産地を調べる。 ②調べた商品を絵カードに描き、白地図に貼る。 ③白地図づくりをもとに、他地域とのかかわりについてわかったことを発表する。</p>	<p>【知】店が商品の仕入れを通じて、国内外の他地域とかわわっていることを理解している。(発)</p>
<p>買い物で気をつけていること P64~65 【配時 1】</p>	<p>お客や家の人は、さまざまなことに気をつけ、工夫して買い物をしていることに気づくことができるようにする。</p>	<p>○お客や家の人が、どのようなことに気をつけて買い物をしていたか、またその理由は何か考え、発表する。 ◆お客は、賞味期限や家族の健康、環境などを考えて買い物をしていること。</p>	<p>①インタビューしたお客の思いや願いについて発表する。 ②家の人に聞いた買い物の工夫について発表する(家庭学習)。 ③お客や家の人の買い物の工夫について話し合う。</p>	<p>【知】賞味期限やリサイクルマークなどの表示、さまざまなサービスを理解している。(発) 【思】お客や家の人のインタビューから、買い物の工夫について考え、適切に表現している。(発)(ノ)</p>

<p>こんなくふう があったよ P66~67 【配時 1】</p>	<p>お客のさまざまな願 いに合わせて、店もさ まざまな工夫をして いることに気づくこ とができるようにす る。</p>	<p>○お客の願いと店の工夫とのか かわりをまとめ、気がついたこ とを発表する。 ◆店は、お客の願いに合わせて、 工夫をしていること（お客は、 店の工夫を比べて、買い物をし ていること）。</p>	<p>①これまでの学習を振り返り、 お客の願いを発表する。 ②お客の願いに合わせた店の 工夫を考え、ノートに書く。 ③お客の願いと店の工夫の対 応関係について、気がついたこ とを発表する。</p>	<p>【思】お客の願いと店の工夫 のかかわりについて考え、ノ ートに書いている。(発)</p>
<p>さまざまな店 や買い物のし かた P68~69 【配時 1】</p>	<p>スーパーマーケット 以外の店や買い物の 仕方について調べ、そ れぞれのよさに合わ せた買い物の仕方が あることに気づくこ とができるようにす る。</p>	<p>○スーパーマーケット以外の店 や買い物の仕方について調べ、 なぜさまざまな方法があるのか 理由を考え、話し合う。 ◆スーパーマーケット以外の店 や買い物の仕方にも、それぞれ のよさがあり、それに合わせて お客は買い物を工夫しているこ と。</p>	<p>①スーパーマーケット以外の 店や買い物の仕方について発 表する。 ②それぞれの特徴を発表する。 ③「まとめる」を参考に、生活 に合わせた買い物の工夫につ いて考え、ノートに書く。</p>	<p>【知】専門店やコンビニエン スストアなどの店、インター ネットショッピングなど、多 様な買い物の仕方のよさに ついて理解している。(発) 【思】さまざまな店や買い物 の仕方のよさや自分の暮ら しとのつながりについて考 え、表現している。(ノ)</p>

小単元 2	工場で働く人と仕事	配当時間 8時間	教科書 3・4上 P70～83
-------	-----------	----------	--------------------

目 標

- しゅうまい工場を見学する計画を立て、見学を通して工場の仕事の様子をとらえさせる。
- 生産の工夫や努力、地域とのつながりなどについてとらえ、工場と自分たちの生活とのつながりについて考えさせる。

評価規準

- 社会的事象への関心・意欲・態度
 - ・しゅうまいづくりについて意欲的に調べ、しゅうまいづくりの仕事と自分たちの生活とのつながりを考えようとしている。
- 社会的な思考・判断・表現
 - ・しゅうまい工場の仕事の様子について、学習問題や学習計画を考え、表現している。
 - ・しゅうまい工場ではさまざまな工夫や努力により、衛生的で安全な製品を効率よく生産していることについて考え、適切に表現している。
- 観察・資料活用の技能
 - ・しゅうまいづくりについて、調べる観点にもとづいた適切な方法で調べ、わかったことを見学メモやノートなどにまとめている。
- 社会的事象についての知識・理解
 - ・工場でのしゅうまいづくりや働く人たちの努力や工夫、原料や流通を通じた他地域とのつながり、地域とのつながりを大切にする工場の人々の思いを理解している。

指導・評価のポイント

見学を受け入れている工場では、見学ルートがほぼ決められている。そのルート上で子どもに気づかせたいことは何かあらかじめ確認しておき、着目点を設定しておく。例えば、工場の「ベルトコンベア」と「運ばれる物」に着目させる。製造工程が進むにつれて物が加工され、製品となる様子を観察することで、流れ作業という概念を理解させたい。また、「働く人の作業」も必ず着目させる。機械化や自動化された工場でも、働く人がいて機械にはできない仕事をしている。

それは何かを工場の人にインタビューさせるとよい。そこに、仕事上の工夫や努力が潜んでいるのである。

評価では、工場の仕事やその工夫の理解について、見学計画時の「調べてくること」に沿って、「見たこと」「きいたこと」「ぎもん」などの見学カードをまとめているかを見取る。また、原料や製品の流通、工場で働く人の通勤圏などを簡単な地図にまとめさせることで、他地域とのつながりの理解を見取る。

学習指導計画 小単元名：工場で働く人と仕事

※「工場で働く人と仕事」と「農家の仕事」のどちらかを選択して学習

(発) = 発言・発表, (行) = 行動観察, (ノ) = ノート・作品, (テ) = テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
まちで人気のしゅうまい P70～71 【配時 1】	実物のしゅうまいから気づいたことをもとに、しゅうまいづくりについて調べたいことや調べ方を話し合い、工場見学の計画を立てることができるようにする。	○自分たちの市でつくられているしゅうまいに興味をもち、しゅうまいをつくる仕事について調べるために調べ方や調べる内容について話し合い、工場見学の計画を立てる。 ◆自分たちの市でつくられているものにはどんなものがあるかを知り、それがどのようにつくられているか調べる方法として工場見学に行くこと。	①自分たちの市で生産されているものを観察して、気づいたことや感じたことを話し合う。 ②工場見学に向けて、調べてくことや調べ方を考える。 ③工場見学の計画を立て、学習問題をつくる。	【関】自分たちの市でつくられているものに興味・関心をもち、それについて意欲的に調べようとしている。(行) 【思】工場の仕事には、どのような工夫があるのかという学習問題を考え、表現している。(発) (ノ)
工場をたずねて P72～73 【配時 2】	しゅうまい工場を見学して、工場の中の様子やしゅうまいづくりの工程、働く人の役割についてとらえることができるようにする。	○しゅうまい工場で、生産工程の様子を、観察したり聞き取ったりする。 ◆しゅうまい工場では、いろいろな機械を使ったり、働く人が工夫をしたりしながら1日にたくさんやしゅうまいをつくっていること。	①前時に決めた「調べてくこと」をもとに、工場ではしゅうまいをどのようにつくっているか、見学して調べる。 ②観察してもわからなかったことを、工場で働く人にインタビューして調べる。 ③しゅうまいづくりの作業工程を確かめる。	【技】自分たちで話し合った観点にもとづいて見学したり、話を聞き取ったりしている。(行) (ノ)
工場見学からもどって P74～75 【配時 1】	工場を見学した時にメモした内容をノートにまとめ、わかったこと、さらに調べたいことを確かめることができるようにする。	○工場を見学してわかったことを整理し、そこでわかったことをもとにもっと調べたいことを話し合う。 ◆実際に見学してわかったことを整理するとともに、そこから出された新たな疑問や、実際には見学できなかった部分についての疑問をもてること。	①見学して気づいたことやわかったことを、見学メモをもとにカードを作成する。 ②カードに書いたことを黒板にまとめながら、わかったことや気づいたことを話し合う。 ③話し合ったことをもとに、まだわからないことや、さらに調べてみたいことをノートに書く。	【技】見学でわかったことを観点に沿って出し合い、それらを分類したり、関連づけたりしながらまとめている。(行) (ノ)
働く人が気をつけていることは P76～77 【配時 1】	工場の設備や働く人たちの服装について調べ、工場では特に衛生と安全に気をつけて生産していることに気づくことができるようにする。	○工場の設備や働く人たちの服装などを調べ、工場で働く人たちは、どんなことに気をつけながらしゅうまいをつくっているか話し合う。 ◆工場で働く人たちは、特に衛生と安全に気をつけてしゅうまいづくりに取り組んでいること。	①工場の施設や工場で働く人たちの服装について、見学してきたことや資料をもとに気づいたことを発表し合う。 ②工場で働く人たちが気をつけていることを、工場の人へのインタビューなどをもとにとらえる。 ③調べてわかったことや考えたことをまとめる。	【思】工場の設備や働く人の服装の様子から、安全・衛生に気をつけて仕事をしていることに気づき、表現している。(ノ)

<p>どんな仕事をしているのかな P78～79 【配時 1】</p>	<p>工場で働く人たちがさまざまな仕事を分担したり、交替で働く時間を調整したりしていることをとらえ、多くの人たちが協力して働いていることに気づくことができるようにする。</p>	<p>○しゅうまいづくり以外の仕事や、働く人たちの労働時間などについて調べ、工場で働く人々のさまざまな取り組みや工夫について話し合う。 ◆工場ではしゅうまいづくり以外にもしゅうまいにかかわるさまざまな仕事があり、働く人たちは働く時間をずらすなどの工夫をしていること。</p>	<p>①工場では、しゅうまいづくりの他に、どんな仕事をする人があるのか調べる。 ②工場の人たちの働き方や、仕事の工夫について調べる。 ③さまざまな部門で働く人たちの様子を調べて、わかったことや考えたことをまとめる。</p>	<p>【知】工場には、しゅうまいづくり以外にもさまざまな仕事をする人があることや、働く人が働きやすいように、働く時間や設備などに工夫をしていることを理解している。(ノ)</p>
<p>原料はどこから、製品はどこへ P80～81 【配時 1】</p>	<p>しゅうまいの原料が運ばれてくる地域や、製品の配送先や配送方法を調べて、自分たちの市と国内外の他地域とのつながりや工場の立地の工夫に気づくことができるようにする。</p>	<p>○しゅうまいの原料が運ばれてくる地域や製品の配送先、輸送のための工夫について調べ、気づいたことをまとめる。 ◆しゅうまいの原料が国内外のさまざまな地域から運ばれてきたり、早く届ける工夫をしながら製品が国内の各地に配送されていったりすること。</p>	<p>①しゅうまいの原料は、どこから運ばれてくるのか調べ、地図に表す。 ②製品はどこへ、どのようにして運ばれているのか、工場の人と話や地図などの資料をもとに調べる。 ③しゅうまいづくりと他地域とのつながりや、出荷の際の工夫について考える。</p>	<p>【技】しゅうまいの原料が運ばれてくる地域や配送先、工場の立地条件について地図や資料から読み取ったり、地図に表したりしている。(発)(ノ)</p>
<p>地いきとともに歩むものづくり P82～83 【配時 1】</p>	<p>工場での環境への配慮や、しゅうまいづくりの歴史を調べることで、ものづくりの工夫や地域とのつながりについて気づくことができるようにする。</p>	<p>○しゅうまいづくりは、どのようにして続けられてきたのか工場の人話から調べ、工場と地域のつながりについて話し合い、しゅうまいづくりについてまとめる。 ◆工場の人たちは、環境への配慮やまちの歴史を大切に、地域とのつながりの中で仕事をしていること。</p>	<p>①工場における環境や資源への配慮について調べる。 ②しゅうまいづくりの歴史について調べ、地域とのつながりについて考える。 ③「まとめる」を参考に、調べてきて考えたことや感じたことをノートに書く。</p>	<p>【思】しゅうまいづくりについて学習したことを、キーワードをもとにまとめている。(ノ)(テ)</p>
<p>〈深める〉 ちらしをつかって、仕事のくふうを伝えよう P84～85 【配時 1】</p>	<p>販売と生産の仕事を調べてきてわかったことや、考えたことなどをもとに、仕事の工夫を伝えるちらしにまとめることができるようにする。</p>	<p>○販売と生産の仕事について調べてわかったことを振り返りながら、それらを総合させちらしにまとめる。 ◆販売と生産の仕事の工夫を他者に対して伝えるために、見出しやキャッチフレーズを話し合いながら考え、ちらしを作成すること。</p>	<p>①商店や工場(農家)の仕事の学習を振り返り、それらを宣伝するちらしをつくるには、どんなことに気をつければよいかを話し合う。 ②それぞれの仕事の工夫や、他地域とのつながり、自分の生活とのかかわりについて表現する。 ③まとめたちらしをもとに発表し、感想を話し合う。</p>	<p>【思】店や工場、農家の仕事は自分たちとかわりがあり、自分たちの暮らしを支えていることを考え、ちらしやノートに表現している。(ノ)</p>

小単元 2	〈せんたく〉農家の仕事	配当時間 8時間	教科書 3・4上 P86～95
-------	-------------	----------	--------------------

目 標

- こまつな農家を見学する計画を立て、見学を通して農家の仕事の様子をとらえさせる。
- 生産の工夫や努力、地域とのつながりなどについてとらえ、農家の仕事と自分たちの生活とのつながりについて考えさせる。

評価規準

- 社会的事象への関心・意欲・態度
 - ・こまつなづくりについて意欲的に調べ、農家の仕事と自分たちの生活とのつながりを考えようとしている。
- 社会的な思考・判断・表現
 - ・こまつな農家の仕事の様子について、学習問題や学習計画を考え、表現している。
 - ・こまつな農家ではさまざまな工夫や努力により、おいしく安全な農産物を生産していることについて考え、適切に表現している。
- 観察・資料活用の技能
 - ・こまつなづくりについて、調べる観点にもとづいた適切な方法で調べ、わかったことをノートや農事ごよみやノートにまとめている。
- 社会的事象についての知識・理解
 - ・こまつな農家の人の努力や工夫、地域とのつながり、地域の農業のあり方についての農家の人の願いを理解している。

指導・評価のポイント

教科書では、学校給食の食材を導入教材とすることで、「自分たちの生活を支えている」ことをとらえられるように構成している。栄養バランスを踏まえた給食の献立作成や「地産地消」の考え方について、栄養教諭から解説していただくなどの協力も得るとよい。また、前単元「店で働く人と仕事」と関連させて、商店の地産地消コーナーで販売されている農産物の実物を導入教材としてもよいだろう。

見学先の農家の選定は、市町村の農業委員や農業協同組合（JA）などと相談するとよい。農家が決めれば、見学対象の農地、施設、農作業とその工夫、農産物の流通の様子など

について打ち合わせしておく。農産物生産は長期に渡る期間を必要とするため、農作業全体のごく一部しか見学できない。見学できない農産物生産のサイクルや農事暦については、インタビューするかJAなどが作成した資料などを活用する。

評価のポイントは、自分とのかかわりに言及しているかどうかである。農家の仕事は、日々口にする食品にかかわることから「自分たちの生活を支えている」ことに結びつけやすい。もちろん、「農家の仕事」の理解も重要であるが、3年生段階での「農業」に対する関心も高めておきたい。

学習指導計画 せんとく：農家の仕事

※「工場で働く人と仕事」と「農家の仕事」のどちらかを選択して学習

(発) = 発言・発表, (行) = 行動観察, (ノ) = ノート・作品, (テ) = テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
<p>〈せんとく〉 給食のざいり ようはどこか ら P86～87 【配時一】</p>	<p>自分たちが住んでいる地域で多くの野菜がつくられていることをとらえるとともに、こまつなづくりについて調べたいことや調べる方法を話し合い、農家の畑の見学計画を立てることができるようにする。</p>	<p>○市で生産されている野菜の分布図を読み取り、学校の近くで生産されているこまつなについて調べたいことを話し合う。 ◆自分たちの住んでいる市では野菜が生産されていることを知り、そのことについて調べる計画を立てること。</p>	<p>①給食のメニューや資料を見て、自分たちの地域の野菜づくりに関心をもつ。 ②自分たちの地域の農作物について、知りたいことや調べたいことを考える。 ③農家見学の計画を立て、学習問題をつくる。</p>	<p>【関】市の野菜の生産について興味・関心を持ち、見学計画を立てようとしている。(発) (ノ) 【思】農家の仕事には、どのような工夫があるのかという学習問題を考え、表現している。(発) (ノ)</p>
<p>〈せんとく〉 加藤さんの畑 をたずねて P88～89 【配時一】</p>	<p>こまつな畑の見学を通して、畑の様子や、こまつなづくりの様子についてとらえることができるようにする。</p>	<p>○こまつなを生産している農家を見学し、こまつなづくりの仕事について調べる。 ◆こまつなづくりの農家では、一年を通して畑やビニールハウスの中でこまつなの生産をしていること。</p>	<p>①地域の農家の畑へ見学に行き、畑の様子を観察する。 ②農家の加藤さんにインタビューする。 ③教室に戻り、見学してわかったことやもっと学びたいことをまとめる。</p>	<p>【技】見学前に立てた見学の視点に沿って、観察をしたり、話を聞き取ったりしている。(行) (ノ)</p>
<p>〈せんとく〉 こまつなづくりのくふう P90～91 【配時一】</p>	<p>農家では、土づくりや生産する時期の工夫など、さまざまな努力や工夫をして、おいしいこまつなをつくらうとしていることに気づくことができるようにする。</p>	<p>○こまつなの生産の様子について振り返り、こまつなづくりの工夫について農家の人から聞き取ったことをもとにまとめる。 ◆こまつなづくりの農家では、土づくりの工夫をしたり、害虫を防いだりするなどの工夫をしていること。</p>	<p>①見学時の観察やインタビューをもとに、農家の仕事を農事ごよみにまとめる。 ②こまつなづくりの工夫がどのように取り組まれているのか、詳しく調べる。 ③こまつなづくりの工夫について、調べて考えたことをまとめる。</p>	<p>【知】農家では土づくりや害虫の駆除、育ちを早める工夫など、こまつなづくりの工夫をしていることを理解している。(ノ)</p>
<p>〈せんとく〉 こまつなとわたしたち P92～93 【配時一】</p>	<p>こまつなの出荷先や出荷方法を調べて、新鮮なこまつなを届ける農家の工夫や、他地域とのつながりについて気づくことができるようにする。</p>	<p>○こまつなの収穫の様子について見学し、出荷の様子や出荷先について調べ、農家と自分たちの生活のつながりについて考えをまとめる。 ◆収穫したこまつなは、地元や他の地域に出荷され、自分たちの生活とつながっていること。</p>	<p>①こまつなの収穫の様子を見学する。 ②収穫されたこまつながどこへ運ばれていくのかを調べる。 ③さまざまな出荷先があることを踏まえて、こまつなの出荷の方法や工夫について調べる。</p>	<p>【知】収穫したこまつなが、市内や他地域に出荷されていることを理解している。(ノ)</p>
<p>〈せんとく〉 加藤さんの願い P94～95 【配時一】</p>	<p>こまつなづくり以外のさまざまな活動について調べて、農家の仕事をさかんにするためにいろいろな努力や工夫をしていることに気づくことができるようにする。</p>	<p>○こまつなの生産以外の仕事について調べ、農家の人の工夫や願いを知り、学習全体を振り返りまとめる。 ◆こまつなづくりの農家では、地元の農作物や農家の仕事のよさを伝えるために、さまざまな工夫や努力をしていること。</p>	<p>①こまつなづくり以外の、農家の人の取り組みについて調べる。 ②農家の人がさまざまな取り組みを行っている理由を調べ、そこに込められた思いや願いについて考える。 ③「まとめる」を参考に、こまつなづくりについて調べてきて考えたことや感じたことをまとめる。</p>	<p>【思】農家の仕事について学習したことを、キーワードをもとに表現している。(ノ) (テ)</p>

大単元 3 小単元 2	変わるわたしたちの暮らし 昔の道具と暮らし	配当時間 10 時間	教科書 3・4上 P106～117
----------------	--------------------------	------------	----------------------

目 標

- 古くから残る暮らしにかかわる道具や、それらを使っていた頃の暮らしの様子について調べ、地域の人々の生活の変化や願い、地域社会のよりよい発展について考えさせる。

評価規準

- 社会的事象への関心・意欲・態度
 - ・古い道具やそれらを使っていた頃の人々の生活の様子について関心を持ち、意欲的に調べようとしている。
- 社会的な思考・判断・表現
 - ・調べたいことや調べる計画を考え、表現している。
 - ・昔の道具を使って感じたことをもとに、道具の変化にともなう生じた人々の生活の変化について考え、表現している。
- 観察・資料活用の技能
 - ・道具を観察したり、郷土資料館の人に聞いたりして、道具の使い方や使われた時期など必要な情報を集め、絵カードにまとめている。
 - ・昔の生活の様子についてインタビューして、必要な情報を集めている。
 - ・調べてきたことを年表にまとめることができている。
- 社会的事象についての知識・理解
 - ・祖父母の世代が子どもの頃の暮らしの様子を理解している。
 - ・父母の世代が子どもの頃の暮らしの様子を理解している。
 - ・昔と今の道具の違いに気づき、道具が変化してきたことや、それにとまって人々の生活も変化してきたこと、道具の工夫や生活の変化には暮らしをよりよくしようとする願いや努力があったことを理解している。

指導・評価のポイント

この単元では、道具という具体物を通じて「人々の生活の変化」をとらえさせる。人々の生活に変化をもたらしたのは、学習指導要領内容（3）で扱う水道、電気、ガスのインフラ整備にある。用途が同じ道具の変化に加え、その変化に共通するものを考えさせるようにしたい。

祖父母世代や父母世代へのインタビュー活動では、地域差や個人差が相当に大きいと思われる。変わったことと、変わ

らないことの両面を調べるようにしたい。

評価のポイントは、道具調べカードや年表などの作成物だけでなく、道具や暮らしの変化をとらえているかである。現在の暮らしが過去の延長上にあることや、より快適なもの・より便利なものへの思いや願いが原動力となって、技術や生活を革新してきたことを理解させるようにしたい。

大単元の構成

大単元 の主題…	地域の人々の暮らしの変化
	2 昔の道具と暮らし ⑩
	昔の道具をさがそう ①
	郷土資料館をたずねて ③
	体験しよう、昔のせんたく ②
	おじいさん、おばあさんが子どものころ ①
	お父さん、お母さんが子どものころ ①
	年表をつくろう ②

○の中の数字は、配当時数。

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
昔の道具をさがそう P106～107 【配時 1】	昔の暮らしの様子が描かれた絵を見て、昔の道具やそれらを使っていた頃の人々の暮らしについて関心をもち、学習問題と学習計画を立てることができるようになる。	○昔の暮らしの様子が描かれた絵を見て、昔の道具を探したり、今の道具と比較してそれらの使い方を考えたりする。 ◆電気、ガス、水道がなく、今はちがう道具を使い、家族が家の仕事を分担して行い、生活していたこと。	①絵を見て気がついたことや、昔の道具を発表する。 ②今の道具とちがうところについて話し合う。 ③昔の道具を使った暮らしについての学習問題をつくる。	【関】昔の道具やそれらを使っていた頃の人々の暮らしについて関心をもち、意欲的に調べようとしている。(行) 【思】知りたいことをもとにして学習問題を考え、表現している。(ノ)
郷土資料館をたずねて P108～109 【配時 3】	郷土資料館を見学し、昔の道具を観察したり使ったりして、道具の名前や使われていた時期、気づいたことや疑問などを絵カードにまとめることができるようになる。	○郷土資料館での見学を計画し、実際に見学して調べたことを絵カードにまとめる。 ◆昔の道具は使うのに手間がかかるものもあるが、昔の人々の知恵や工夫が込められていること。	①郷土資料館を見学して調べることや、調べる方法について話し合う。 ②見学して道具の名前や使い方、使われた時期を調べる。 ③調べたことやわかったこと、考えたことを絵カードにまとめる。	【技】道具を観察したり、郷土資料館の人に聞いたりして、道具の使い方や使われた時期など必要な情報を集め、絵カードにまとめている。(ノ)
体験しよう、昔のせんとく P110～111 【配時 2】	洗濯板を使って洗濯をすることで、昔の暮らしの様子を実感するとともに、道具の移り変わりや人々の生活の変化について考えることができるようになる。	○洗濯板とたらいを使って洗濯をしたり、洗濯に使う道具の絵カードを並べて比較したりして、道具の移り変わりや人々の生活の変化について考える。 ◆道具の移り変わりとともに人々の生活も変化し、便利になったこと。	①人から教わって洗濯板とたらいを使った洗濯を体験する。 ②感じたことを話し合う。 ③洗濯に使う道具の絵カードを並べ、気づいたことを話し合う。	【思】昔の道具を使って感じたことをもとに、道具の変化にともなって生じた人々の生活の変化について考え、表現している。(発)(ノ)
おじいさん、おばあさんが子どものころ P112～113 【配時 1】	祖父母の世代の人々に、子どもの頃の暮らしの様子を尋ねて調べ、道具や暮らしがどのように変化してきたかをとらえることができるようになる。	○祖父母の世代の人々に昔使っていた道具のことや暮らしの様子について質問し、わかったことや考えたことをノートにまとめる。 ◆戦中、戦後すぐは苦しい生活が続いたこと。子どもも家の仕事を手伝って働いたこと。	①祖父母の世代の人々に質問したいことを整理する。 ②知りたいことをインタビューする。 ③インタビューをもとに、今と昔の暮らしのちがいについてノートにまとめる。	【技】祖父母などに子どもの頃の暮らしについてインタビューし、必要な情報を集めている。(行)(ノ)
お父さん、お母さんが子どものころ P114～115 【配時 1】	父母の世代の人々に、子どもの頃の暮らしの様子を尋ねて調べ、道具や暮らしがどのように変化してきたかをとらえることができるようになる。	○父母の世代の人々に遊びの様子やまちの様子、使っていた電化製品などについて質問し、わかったことや考えたことをノートにまとめる。 ◆電気を使う製品が増えたり、地域の開発が進んだりしたこと。	①父母の世代の人々に質問したいことを整理する。 ②知りたいことをインタビューする。 ③インタビューをもとに、考えたことをノートにまとめる。	【技】父母などに子どもの頃の暮らしについてインタビューし、必要な情報を集めている。(行)(ノ)
年表をつくらう P116～117 【配時 2】	作成してきた絵カードを活用し、道具の進歩と暮らしや社会の変化を関連づけてとらえ、年表にまとめることができるようになる。	○絵カードを活用して、時代ごとに区分して道具の移り変わりや人々の生活の変化がわかる年表を作成する。 ◆道具の変化とともに人々の生活の様子やまちの様子も変化してきたこと。	①絵カードを使って、これまでに調べてきたことを振り返る。 ②絵カードを順番に並べ、必要なことを書き加えて年表を作成する。 ③「まとめる」を参考に、年表を見てわかったことや考えたことをノートに書く。	【知】道具の変化には、暮らしをよりよくしようとする人々の願いや努力があったことを理解している。(テ)(ノ) 【思】道具の移り変わりや人々の暮らしの変化を関連づけて考え、表現している。(ノ)

大単元 4	安全なくらしとまちづくり	配当時間 18 時間	教科書 3・4下 P4～29, 36～37
-------	--------------	------------	--------------------------

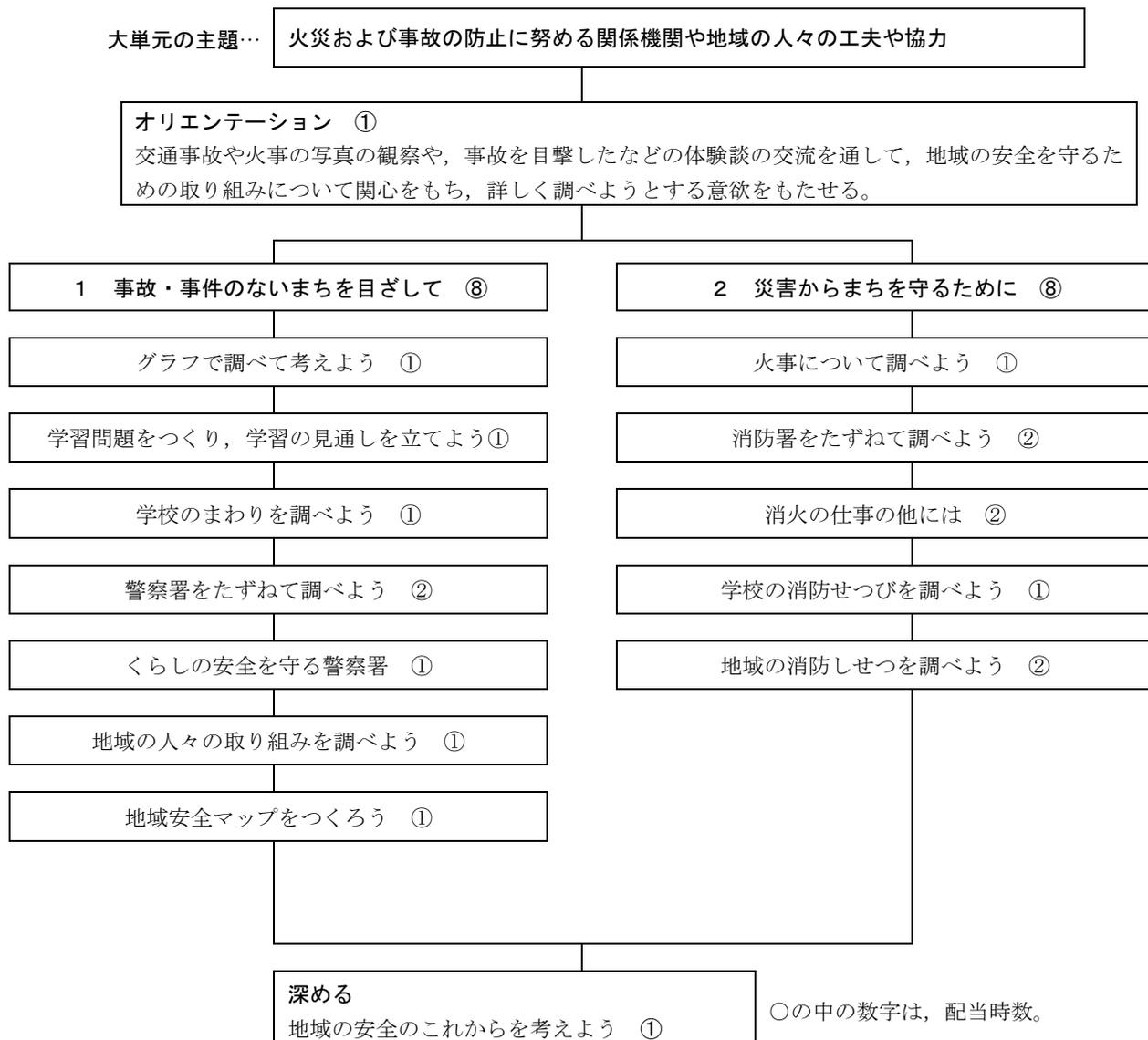
目 標

- 地域社会における火災および事故の防止について、関係機関は地域の人々と協力して災害および事故の防止に努めていることや、それらの機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていることを、見学、調査したり資料を活用したりして調べさせる。
- 人々の安全を守るための関係機関のはたらきと、そこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えさせる。

評価規準

- 社会的事象への関心・意欲・態度
地域社会における事故、犯罪や火災の防止のための諸活動に関心をもち、それを意欲的に調べ、地域社会の一員として地域の人々の安全な生活の維持について考えようとしている。
- 社会的な思考・判断・表現
地域社会における事故、犯罪や火災の防止のための諸活動の様子から学習問題を見いだして追究し、人々の安全を守るための関係機関のはたらき、そこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力について、思考し判断したことを言語などで適切に表現している。
- 観察・資料活用 of 技能
地域社会における事故、犯罪や火災の防止のための諸活動の様子を的確に調査、見学したり、具体的な資料を活用したりして、必要な情報を集めて的確に読み取ったりまとめたりしている。
- 社会的事象についての知識・理解
人々の安全を守るための関係機関のはたらきとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を理解している。

大単元の構成



小単元 1	事故・事件のないまちを目ざして	配当時間 8 時間	教科書 3・4下P6～19
-------	-----------------	-----------	------------------

目 標

- グラフなどの読み取りを通して交通事故が身近な問題であることに気づかせ、学区の交通の様子や警察署の仕事を調べることを通して、交通安全施設や交通法規の意味と役割、警察署を中心とした事故処理や事故防止の工夫と努力を理解させる。
- 警察署や交番を見学したり、地域の人々の活動を調べたりすることを通して、警察署、関係の諸機関、地域の人々が相互に協力、連携しながら地域の安全を守っていることを理解させ、さらに自分ができることを考えさせる。

評価規準

- **社会的事象への関心・意欲・態度**
 - ・ 交通事故や犯罪から地域を守るための取り組みに関心を持ち、警察署や地域の人々の諸活動を意欲的に調べたり、地域や自分自身の安全を守るために自分にもできることを考えようとしていたりしている。
- **社会的な思考・判断・表現**
 - ・ 市で起きた交通事故の件数を調べて疑問に感じたことをもとに学習問題を考え、表現している。
 - ・ 交通事故や犯罪から地域を守るための施設や法規、警察署を中心とした関係機関や地域の人々の協力・連携について、その役割や意味を考えるとともに、地域の一員として自分にもできることを考え、それらを表現している。
- **観察・資料活用の技能**
 - ・ 交通事故の件数や死傷者数、主な原因をグラフや表から読み取り、市で発生している交通事故の実状を捉えている。
 - ・ 交通安全施設の様子、警察署や交番のはたらき、地域の人々の取り組み、危険な場所や安全な場所の分布などを、ノートや地図にまとめている。
- **社会的事象についての知識・理解**
 - ・ 交通安全施設や交通法規の意味と役割、警察署を中心とした事故の処理や防止の工夫と努力、警察署、関係機関、地域の人々が相互に協力・連携しながら地域の安全を守っていることを理解している。

指導・評価のポイント

交通安全施設の調査や、地域の安全を守る活動をしている人へのインタビューなど、体験活動を多く取り入れたい。指導では、交通事故の処理や防止、防犯において、関連機関と地域の人々が協力、連携している姿を具体的に捉えさせる。

関係機関と地域の人々との「協力」については、地域の交通安全施設や交番の警察官と住民との情報交換、地域の人々による「子ども見守り隊」、学校、地域、警察の協力による「地域安全会議」、防犯パトロールの車や「こども 110 番のくるま」、「こども 110 番のいえ」などを扱っている。

関係機関が相互に「連携」する様子は、110 番の仕組みによって、関係機関に素早く連絡が届き、早急に事故処理にあたることから捉えさせる。また、消防局や交通管制センターへの連絡も、迅速な事故処理には欠かせないことも理解させる。

評価のポイントは、地域の安全のため、警察と地域が協力、連携している姿が捉えられたかどうか、児童自身も地域の一員として安全な地域づくりに関わっていかうとしているかどうかである。

学習指導計画 大単元名：安全なくらしとまちづくり

(発) = 発言・発表, (行) = 行動観察, (ノ) = ノート・作品, (テ) = テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
オリエンテーション P4~5 【配時 1】	交通事故や火災の写真を読み取ったり、見聞きしたことや体験したことなどを発表したりするを通して、安全なまちにするにはどうしたらよいか、調べる意欲がもてるようにする。	○交通事故や火災の写真を観察して気づいたことや感じたこと、あるいは、これまでに見たり聞いたりした交通事故や火災の様子、交通事故にあいそうになった体験などを発表し、誰がどのように地域の安全を守っているのかについて話し合う。 ◆交通事故や火災の現場では、警察署と消防署が協力して処理にあたっていること。	①交通事故や火災の現場の写真を読み取る。 ②交通事故や火災の現場について、知っていることや見聞きしたことを発表する。 ③発表したことをもとに、誰がどのように地域の安全を守っているのかについて問いをもつ。	【関】交通事故や火災の写真などの観察や発表に意欲的に取り組み、市で起きた交通事故や火災に関心をもち意欲的に調べようとしている。(発)(行) 【技】交通事故や火災現場の写真を見て、どの機関の人が、どのように対応しているのかを読み取り、的確に指摘している。(発)(ノ)

学習指導計画 小単元名：事故・事件のないまちをみざして

(発) = 発言・発表, (行) = 行動観察, (ノ) = ノート・作品, (テ) = テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
グラフで調べて考えよう P6~7 【配時 1】	市で起きた交通事故に関するグラフや表から読み取ったことをもとに交通事故に関心を持ち、事故を防ぐための取り組みについて調べたいことを明らかにできるようにする。	○市で起きている交通事故の件数や死傷者数、事故の主な原因に関するグラフや表などを読み取り、わかったことや疑問点を話し合う。 ◆交通事故の件数は徐々に減少しているが、死傷者数は増減を繰り返していること。また、事故の原因は様々であること。	①交通事故に関するグラフを見て、特徴や変化の仕方を読み取る。 ②グラフや表を読み取って、気づいたことや考えたことを話し合う。 ③話し合ったことをもとに、交通事故を防ぐにはどうしたらよいかという問いをもつ。	【関】市の交通事故に関するグラフや表を読み取り、事故の件数や死傷者数、原因などから交通事故の実態を意欲的に捉えようとしている。(発)(行) 【技】市の交通事故の件数や原因を表したグラフや表から、数値や変化を的確に読み取っている。(発)(ノ)
学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう P8~9 【配時 1】	前時で読み取ったグラフや表をもとに、交通事故を防ぐために警察署や地域の人々はどうしているのか、という学習問題をつくることのできるようにする。	○交通事故が減ってきた理由について話し合い、調べたいことを明らかにして学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。 ◆交通事故が減ってきた理由について話し合うこと。話し合いをもとに学習問題をつくり、追究の見通しを立てること。	①交通事故が減ってきた理由について話し合う。 ②話し合ったことをもとに、学習問題をつくる。 ③学習問題を解決するための調べ方や、調べたことの整理の仕方を考え、学習の見通しをもつ。	【関】社会科学習の進め方について関心を持ち、今後の学習計画に意欲的に役立てようとしている。(発)(行) 【思】交通事故の写真や市の交通事故に関するグラフや表を読み取り、疑問に思ったことや調べたいと思ったことを明らかにし、学習問題を考え、表現している。(発)(ノ)
学校のまわりを調べよう P10~11 【配時 1】	学校のまわりにある交通事故を防ぐための施設を調べ、役割や設置場所について考えとともに、交通法規やルールを守ることの大切さを理解することができるようにする。	○学校のまわりにある交通事故を防ぐための施設とその役割を調べ、施設がその場所に設置された理由を考える。 ◆学校のまわりには、交通事故を防ぐための様々な施設があること。また、交通ルールなどの守るべききまりがあること。	①学校のまわりの交通事故を防ぐための施設を調べる。 ②交通事故を防ぐための施設が、その場所にあるわけを考える。 ③調べて気づいたことや考えたことを話し合う。	【知】交通事故を防ぐための施設やその役割を捉えるとともに、それらが交通量や道路事情に応じて設置されていることを理解している。(発)(ノ)

<p>警察署をたずねて調べよう P12～13 【配時 2】</p>	<p>交通事故を処理したり、防いだりするための警察署の仕事について調べ、110番の仕組みや警察署の交通安全のための仕事について理解できるようにする。</p>	<p>○交通事故を処理したり、防いだりするための警察署の仕事や、仕事の工夫について調べる。 ◆交通事故の迅速な処理のために110番の仕組みがあること。また、警察署には、交通事故を防止するための仕事や仕組みがあること。</p>	<p>①警察署の仕事を調べる計画を立てる。 ②交通事故が発生したときの警察署の仕事を調べる。 ③交通事故を防ぐための警察署の仕事を調べる。</p>	<p>【技】警察署の人の説明を聞いてメモに記録したり、疑問に思うことを的確に質問したりしている。(発)(行) 【知】110番の仕組みや、交通事故を防ぐために警察署が行う仕事を理解している。(発)(ノ)</p>
<p>くらしの安全を守る警察署 P14～15 【配時 1】</p>	<p>地域の安全を守るための警察署の仕事について調べ、地域の安全のために工夫・努力していることを理解できるようにする。</p>	<p>○地域の安全を守るための警察署の仕事について調べる。 ◆警察署は地域の安全を守るために、防犯教室や呼びかけ、巡回といった仕事を行っていること。</p>	<p>①交通事故の他に、どのような事件が起きているのかを調べる。 ②交番の警察官の仕事を調べる。 ③警察署の仕事は、地域とどのようにかかわっているのか考える。</p>	<p>【知】警察署は事故や事件を防止するために、地域の人々に呼びかけを行ったり、地域を見まわったりするといった取り組みを行っていることを理解している。(発)(ノ)</p>
<p>地域の人々の取り組みを調べよう P16～17 【配時 1】</p>	<p>地域の人々の交通事故や事件を防ぐための活動を調べ、地域の安全を守るために人々は協力し合ったり、警察署と連携したりしていることを理解できるようにする。</p>	<p>○地域の人々の交通事故や事件を防ぐための取り組みを調べる。 ◆子ども見守り隊を組織したり、地域安全会議を開いたりするなど、地域の人々は協力し合って安全を守るための活動をしていること。</p>	<p>①地域の人々の交通事故や事件を防ぐ取り組みを調べる。 ②地域の安全を守るためにどのような人々が協力し合っているか調べる。 ③地域の安全を守るために、自分たちができることを話し合う。</p>	<p>【知】地域の人々が主体となって、警察と連携し、地域の安全を守るための取り組みが行われていることを理解している。(発)(ノ)</p>
<p>地域安全マップをつくらう P18～19 【配時 1】</p>	<p>地域の危険な場所や安全な場所を表す地域安全マップを作り、事故や事件のない地域にするために大切なことについて考えることができるようにする。</p>	<p>○学習で調べてきたことをもとに、地域の危険な場所や安全な場所を表す地域安全マップを作る。 ◆地域には危険な場所や安全な場所があり、人々は協力し合ったり警察と連携したりしながら地域の安全を守っていること。</p>	<p>①地域安全マップをつくる計画を立てる。 ②事故や事件を防ぐ取り組みなど、調べたことを振り返り、マップをつくる。 ③「まとめる」を参考に、地域の安全を守るための仕組みや、人々の取り組みを考えてノートに書く。</p>	<p>【技】地域の安全を守る人々や、人々の取り組みを振り返り、地域安全マップに示すことがらを整理して、マップをわかりやすく作成している。(行) 【思】地域安全マップをもとに、自分が地域の安全のためにできることを考え、適切に表現している。(発)(ノ)</p>

小単元 2	災害からまちを守るために	配当時間 8時間	教科書 3・4下 P20～29
-------	--------------	----------	--------------------

目 標

- グラフなどの読み取りを通して、火事が身近な災害であることに気づかせ、消防の様々な活動、施設や計画について調べることを通して、それらの意味と役割、消防署を中心とした消防の工夫と努力を理解させる。
- 消防署を見学したり学校や地域の消防施設を調べたりすることを通して、消防署、関係する諸機関、地域の人々が相互に協力、連携しながら地域の安全を守っていることを理解させ、さらに自分ができることを考えさせる。

評価規準

- **社会的象への関心・意欲・態度**
 - ・ 火事から地域を守るための取り組みに関心を持ち、消防署や地域の人々の取り組みについて意欲的に調べたり、地域や自分の身を守るために、自分にできることを意欲的に考えようとしていたりしている。
- **社会的な思考・判断・表現**
 - ・ 市で起きた火事の件数を調べて疑問に感じたことをもとに学習問題を考え、適切に表現している。
 - ・ 火事から地域を守るための施設、消防署を中心とした関係する諸機関や地域の人々の協力・連携について、その役割や意味を考えるとともに、地域の一員として自分にもできることを考え、それらを表現している。
- **観察・資料活用の技能**
 - ・ 火災件数や死傷者数のグラフなどを読み取り、市で発生している火災の実状を捉えている。
 - ・ 学校や地域の消防施設の分布などを地図に正確にまとめている。
- **社会的事象についての知識・理解**
 - ・ 消防の施設や計画の意味と役割、消防署を中心とした消火や防火の工夫と努力、消防署・関係機関・地域の人々が相互に協力・連携しながら地域の安全を守っていることを理解している。

指導・評価のポイント

前小単元と同様に、消防署の見学や消防施設の調査、地域の消防活動に携わる人へのインタビューなど、体験活動を多く取り入れたい。

指導の際は、関係機関と地域の人々との「協力」や「連携」を具体的に捉えさせる。「協力」については、地域の消防団の協力があり、自治会なども加わり、自主防災組織の協力のもとで防災計画の策定や啓発活動などが取り組まれている。関係の諸機関が相互に「連携」している様子は 119 番の仕組みを中心に捉えさせる。火災や救急への早急な対処は、連

絡・出動体制によるだけでなく、現場の安全に努める警察署、火災の拡大阻止に協力する電力会社やガス会社、急病人を収容する病院など、多くの連携によって支えられていることを具体的な場面を通して理解させる。

評価のポイントは、これらの協力、連携の姿を捉えられているかどうか、さらに児童自身も地域の一員として防火活動へ参加し、地域に協力したいという社会参画意識が高まったかどうかである。

学習指導計画 小単元名：災害からまちを守るために

(発) = 発言・発表, (行) = 行動観察, (ノ) = ノート・作品, (テ) = テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
火事について 調べよう P20～21 【配時 1】	資料の読み取りを通して火災の恐ろしさに気づくとともに、学校や地域がどうやって火災から守られているのかについて調べたいことを明らかにし、学習問題をつくらることができるようにする。	○火災のイラストや火災発生件数、被害者数のグラフなどを読み取り、市で発生している火災について調べたいことを明らかにして、学習問題をつくる。 ◆市では毎年一定件数の火災が発生しており、発生原因も様々であること。また、火災現場には消防署員以外も駆けつけ、消火のための活動に協力していること。	①資料を見て、感じたことや考えたことを話し合う。 ②調べたいことを明らかにして、学習問題をつくる。 ③これまでの学習をもとにして、調べる計画を立てる。	【関】火災のイラストや発生件数、被害者数のグラフなどから読み取ったことを意欲的に発表したり、他の児童と話し合ったりしている。(発)(行) 【思】火災のイラストや発生件数、被害者数のグラフなどを読み取り、そこから疑問に思ったことや調べたいと思ったことをもとに学習問題を考え、表現している。(発)(ノ)
消防署をたずねて調べよう P22～23 【配時 2】	火事が起きた場合の消防署の対処の仕方を調べ、人々や関係機関が連携して計画的に行動していることを捉えることができるようにする。	○消防署の出動に関する写真や119番の仕組み図を読み取り、火事が発生した時の関係機関への連絡や出動の様子、工夫について調べる。 ◆警察署に110番の仕組みがあるように、消防署にも119番の仕組みがあること。また、近隣の消防署からの応援体制があること。	①119番の仕組みを調べる。 ②早く出動するための工夫を調べる。 ③速く消火するために、消防署はどのような工夫をしているのか調べる。	【技】消防署の人の説明を聞いてメモに記録したり、疑問に思ったことを的確に質問したりしている。(発)(行) 【知】119番の仕組みや火事が発生した時の消防署の仕事について理解している。(発)(ノ)
消火の仕事の他には P24～25 【配時 2】	消防署の消火以外の活動を調べ、日常から出動に備えたり、火災の予防に取り組んだりしていることを捉えることができるようにする。	○消防や救急、救助の仕事をする人の話を聞いたり勤務時間の表を読み取ったりして、火災が発生していないときの消防署の仕事について調べる。 ◆消防署には日常の訓練や点検、啓発などの仕事があること。119番通報による出動には消火活動だけでなく、救急隊や救助隊の活動もあること。	①出動がないときの消防署の仕事を調べる。 ②救急隊や救助隊の仕事を調べる。 ③消防署の仕事を振り返り、どのような工夫をしているのか考える。	【知】消火のための出動以外の仕事や、救急隊、救助隊の仕事について理解している。(発)(ノ)
学校の消防せつびを調べよう P26～27 【配時 1】	学校の消防設備を調べ、各設備の役割や計画的に配置されていることに気づくとともに、火災の発生に備えた消防計画が立てられていることを捉えることができるようにする。	○学校の消防設備の写真や配置図、先生の話から、学校における消防の取り組みを調べる。 ◆学校には様々な消防設備があり、適切な位置に置かれていること。また、学校では消防計画に沿って、火災に備えていること。	①学校の消防設備を調べる。 ②その場所に消防設備が置かれているわけを考える。 ③学校は火事からどのように守られているかを考える。	【知】学校の消防設備について、設備の種類や役割、設置場所を捉えるとともに、学校は計画をもって火災に備えていることを理解している。(発)(ノ)

<p>地域の消防し せつを調べよ う P28～29 【配時 2】</p>	<p>地域の消防施設を調べ、各設備の役割や計画的に配置されていることに気づくとともに、消防団の人は消防署と協力して地域の火災に備えていることを理解することができるようにする。</p>	<p>○地域にある消防施設の写真や配置図、消防団の資料から、消防施設の分布と役割、消防団の仕事内容について調べる。 ◆地域には様々な消防施設があり、適切な位置に置かれていること。また、消防団は消防署と協力して、地域の火災に備えていること。</p>	<p>①地域の消防施設を調べて、施設の種類や場所を地図に記入する。 ②地域にある消防団は、どのような活動をしているのか、調べる。 ③調べたことを地図にまとめ、わかったことを話し合う。</p>	<p>【知】地域の消防施設について、施設の種類や役割、設置場所を捉えるとともに、消防団や地域の人々は消防署と協力して火災に備えていることを理解している。(発)(ノ)</p>
<p>〈深める〉 地域の安全の これからを考 えよう P36～37 【配時 1】</p>	<p>地域の安全な場所や危険な場所、火災時の方法などを、下級生や地域の人々に伝える活動を通して、地域の安全を守っていこうとする自覚をもつことができるようにする。</p>	<p>○地域安全会議を開いて、下級生や地域の人々を教室に招き、作成した地域安全マップをもとに、地域の危険な場所や安全な場所、これから自分はどうしていきたいかななどを発表する。 ◆自分がこれまで安全だと思っていた場所にも危険が潜んでいる可能性があること。</p>	<p>①どのような会議にするかを話し合い、発表する内容を決める。 ②地域安全会議を開き、作成したマップをもとに、地域の安全な場所や危険な場所、火災時に避難する方法などを下級生や地域の人々に伝える。 ③友だちの発表や地域の人々の意見や感想を聞いて考えたことをノートに書く。</p>	<p>【関】学習したことをもとに、地域の安全な場所や危険な場所、火災時に避難する方法などについて、下級生や地域の人々に意欲的に伝えようとしている。(発)(行) 【思】地域の安全な場所や危険な場所、火災時に避難する方法はどのようなものなのかを考えた根拠とともに示し、適切に表現している。(発)(ノ)</p>